

少年少女の熱い闘いが展開

— 神戸市少年サッカーリーグ前期から —

104チームが参加し5月3日に開幕した今年度神戸市少年サッカーリーグは中間の折り返し点にさしかかってきた。各部とも前期の成績を参考に後期は上位グループと下位グループに分けられるため今必死である。当然、優勝は上位グループの中から出る。

今年は参加チームの急増とそれに伴うグラウンド難、加えて天候不順で雨の日が多く日程消化が遅れている。しかし、関係者の努力でここまでできた。通年リーグの5部を除く前期252試合中2部の1試合を残して終了。

後期にそなえ各チームとも練習に余念がない。

1部(男子小6)河本杯はどのチームに。7〜8チームにわかれた前期リーグの結果上位4位までが後期上位リーグへ進む。1組からはKFC・A、蓮池A、八多A、ちとせA、2組からは箕谷A、ひよどり台A、東灘A、KFC・Cが、3組からは成徳A、鶴越A、桜宮A、多井畑Aが進出を果たした。昨年めざましい活躍をした高倉台、丸山の下位が淋しい。また上昇著しい福住も一歩及ばず下位リーグへ。また昨年は5年生のチームが3チ

1部前期リーグ(男子小6以下)

1 組	K(A)	ち(A)	蓮(A)	東 舞	八(A)	箕(B)	渦(A)	東(B)	勝 点	得失点差	順 位
神戸FC(A)		3-1	6-0	4-0	2-1	4-0	4-0	7-0	14	+28	1
ちとせ(A)	1-3		0-1	3-2	0-1	6-0	7-0	9-1	8	+18	4
蓮 池(A)	0-6	1-0		6-0	1-0	4-0	1-0	3-0	12	+4	2
垂水SS東舞子	0-4	2-3	0-6		1-11	0-2	0-2	0-2	0	+27	8
八 田(A)	1-2	1-0	0-1	11-1		3-1	2-1	4-0	10	+16	3
箕 谷(B)	0-4	0-6	0-4	2-0	1-3		2-0	0-2	2	-16	6
渦 ケ 森(A)	0-4	0-7	0-1	2-0	1-2	0-2		0-0	3	-13	7
東 灘(B)	0-7	1-9	0-3	2-0	0-4	2-0	0-0		5	-18	5

2 組	東(A)	K(C)	ひ(A)	成(B)	鶴(B)	福 住	箕(A)	勝 点	得失点差	順 位
東 灘(A)		5-0	1-3	8-0	16-0	6-0	1-3	8	+31	3
神戸FC(C)	0-5		0-5	2-1	12-0	3-0	0-2	6	+4	4
ひよどり台(A)	3-1	5-0		2-0	6-0	0-0	1-0	11	+4	1
成 徳(B)	0-8	1-2	0-2		1-0	0-3	0-6	2	-19	6
鶴 越(B)	0-16	0-12	0-6	0-1		0-1	0-6	0	-42	7
福 住	0-6	0-3	0-0	3-0	1-0		0-6	5	-11	5
箕 谷(A)	3-1	2-0	0-1	6-0	6-0	6-0		10	+21	2

3 組	成(A)	高(A)	板 宿	桜(A)	多(A)	鶴(A)	丸(A)	塩 屋	勝 点	得失点差	順 位
成 徳(A)		4-0	13-0	2-0	11-2	7-1	6-0	9-1	14	+48	1
高 倉 台(A)	0-4		0-0	0-1	1-3	0-5	0-1	2-2	2	-13	7
板 宿	0-13	0-0		3-0	1-1	0-5	1-0	0-0	7	-14	5
桜 の 宮(A)	0-2	1-0	0-3		0-2	2-1	3-0	3-0	8	+1	3
多 井 畑(A)	2-11	3-1	1-1	2-0		1-2	0-0	5-0	8	-1	4
鶴 越(A)	1-7	5-0	5-0	1-2	2-1		11-0	7-1	10	+21	2
丸 山(A)	0-6	1-0	0-1	0-3	0-0	0-11		3-1	5	-18	6
垂水 塩 屋	1-9	2-2	0-0	0-3	0-5	1-7	1-3		2	-24	8

関正スポーツ

東灘区住吉町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がの100m東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新聞路店 ☎078(575)7688

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

葦合区琴緒町4丁目7 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理髪専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

淡川店 淡川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイユー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

生田区三宮町3-2 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

スポーツワールド33

生田区三宮町2丁目1 ☎078(332)7332

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目4-6 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

5部はまだ消化していないが、ひよどり台Dがややリードしている。

12月末まで少年、少女達の熱い闘いはくり広げられる。一度グラウンドへおこし下さい。(黒田)

14年目をむかえた

神戸・広島定期戦

ホームアンドアウェイで毎年行われている神戸FC中学部と広島中学選抜との定期戦は今年、9月14日、磯上に広島を迎えて第14回目が行われ、広島が5-0と神戸FCジュニアAを下し、対戦成績を6勝3分け5敗とした。

第1回は昭和43年1月14日に広島大学附属中学のグラウンドで神戸少年スクールの中学3年生チームが4-1で広島サッカー教室を破っている。この定期戦は13年前、本栖湖で行われた第1回全国スポーツ少年団大会で当時サッカー王国の再建を目ざす、広島サッカー教室故郷原氏と神戸少年スクールの加藤正信氏との話し合いから「お互い少年から切磋琢磨(せつさたくま)して育てよう」と、始められ、第8回からは神戸FC前会長の故玉井操氏寄贈のカップを懸けて戦うようになった。これまで神戸側の対戦チームの性格は神戸少年スクールの中学チームや神戸FCジュニアの性格が市内の選抜的チームから単独チームへと変化してきたが、52年以後はまったく神戸FCの単独チームが対戦している。また広島はサッカー教室という名称から広島市中学校の選抜へ、そして最近ではクラブチームの選手も含めた広島市・県のトレーニングセンターのチームへと変化している。そこで、神戸に広島を招待する偶数回の定期戦ではオープン戦として、神戸市中学選抜とのゲームを組み入れるようになった。今年も9月15日川重魚崎グラウンドで戦い、GK松浦、BK藤田らの活躍で0-0で引き分けた。また、県下トレーニングセンターとも戦い2-2でこれも引き分けた。

4部も各組の上位2チームが後期上位リーグへ進出するが、高倉台A、八多A、多井畑Aが実力紙一重でせりあっている。

神戸市中学生選抜 0-0 広島中3選抜
GK松浦、BK田坂(日高)、藤田、本田、HB関、辻(広部)、FW山本(下浦)、溝畑(吉岡)、山田(山本)、井上(安足)、今政(坂上)

兵庫県トレセン 2-2 広島中3選抜
GK沖原、BK田坂、跡上、三牧、HB西中、辻、FW溝畑、井上(大橋)、山本(山中)奥井、土橋。 得点=土橋、奥井

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

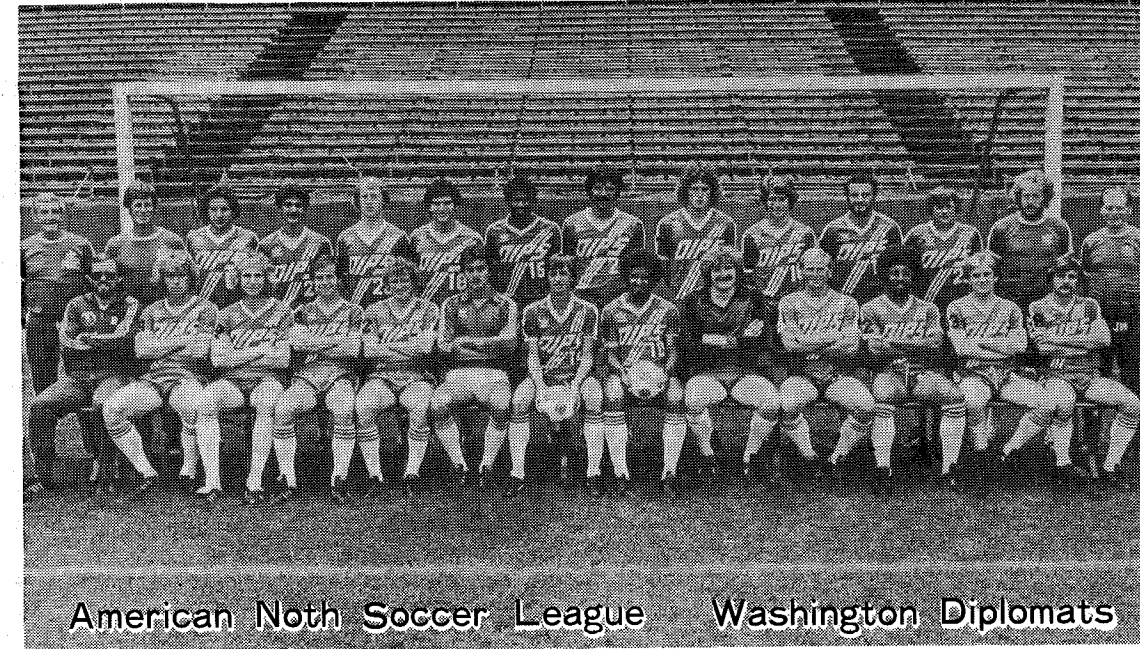
〒657 神戸市葦合区八幡通2-5磯上公園
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



神戸のサッカー

世界のスーパー・スター ヨハン・クライフ来神



ワシントン・ディプロマツ ヤンマーと対戦

と き 11月14日(金) 18:30キックオフ
ところ 神戸市立中央球技場

北米リーグの強豪

アメリカNASL(北米サッカー・リーグ)でニューヨーク・コスモスと並ぶ強豪ワシントン・ディプロマツが11月14日(金)午後6時30分、神戸中央球技場において、現在日本リーグの首位を独走中のヤンマー・ディーゼルと対戦する。

ディプロマツにはオランダが生んだ世界のスーパースター、ヨハン・クライフをはじめヤンセン(オランダ)、ロサノ(スペイン)などワールドクラスの名手を数多く擁し、今年の北米リーグではコスモスと激しい首位争いを演じ、おしくも二位になった。

今回の来日は初めてのことであり、ゼロックス社共賛によるスーパー・サッカー大会の名

称で日本および東南アジアで数試合が予定されている。

日本の至宝“釜本”健在

迎え撃つヤンマー・ディーゼルは10月12日現在日本リーグの首位を独走中で優勝へあと勝ち点1とほぼ優勝を掌中にした感がある。先日の記者会見ではやる気充分の意欲的な発言をしており、世界のスーパースター・クライフとますます円熟味を増した日本の至宝「釜本」との対決が見ものである。JSL 200ゴールを目前にした36歳のストライカー釜本選手のプレーが神戸で見ることができるともと数試合。白熱したゲームの中にクライフらとともに彼のすばらしいプレーをしっかり目に焼き付けてもらいたい。

ヨハン・クライフ (オランダ) 33歳

オランダの名門アヤックスでプレーしている間にはこのチームの主将としてヨーロッパクラブカップのチャンピオンに3年連続(1971~73)して輝いた。又1974年のワールドカップではオランダのエースとして主将として大活躍しオランダを準優勝に導いた。

特にスピードに乗った技術と戦術眼は、ベレヤッケンバウワーをもしのぐ素晴らしい活躍でヨーロッパの第一人者となった。ヨーロッパ最優秀選手を3回受賞したのもクライフだけである。

その後74年にスペインのバルセロナに移籍したが78年に引退をした。昨年北米リーグロスアンゼルス・アブテックスでカムバックしNASLのMVPを獲得し今年ワシントンに移籍した。



MFビム・ヤンセン (オランダ)

入場券	S券	3,000円(前売・当日共)
	A券	1,500円(前売) 2,000円(当日)
	B券	バックスタンド立見席
	大人	800円(前売) 1,000円(当日)
	高校生	500円(前売)
	小中学生	300円(前売)
前売券発売日	10月1日発売	
プレイガイド	神戸新聞会館プレイガイド	
	・サンチカインフォーメーション	
	・阪神交通社プレイガイド・阪急交通社プレイガイド	
スポーツ店	サッカーショップオウビ・サッカーショップ加茂・ヤノ運動具店・シマスポーツ(京都市北区) ・ミカドスポーツ(大阪市北区)	
その他関西、兵庫サッカー協会で。		

灘 高 大 健 闘

— 神戸市高校リーグ1部優勝 —

神戸市高校リーグは、9月6日から開幕し1部6チーム、2部8チーム(A・Bブロック)3部17チーム(A～Dブロック)で実施された。

今回のリーグ戦は、神戸市の高校サッカーのレベルアップを図るという意味で初めて試みられたが、1部の6チームは実力の接近した好試合を展開した。2部以下ではチームの差が目立ち大差のゲームもみられたが試合を重ねるごとに実力をつけるチームもあり、それなりの効果を収めたのではない。

ただ残念なことに、先生が欠席したための棄権試合や個人カードを忘れたために失格した学校などがあり、今後チーム関係者の自覚をうながしたい。リーグの主な内容は次のとおりである。

〔1部〕1部リーグ6チームでは、上位3チームが灘、御影、御影工がせり合ったが灘が勝ち点1の差で御影を押さえてリーグ初優勝を飾った。

灘はCF西川、RW桜井のスピードにのっ

た攻撃を中心によくまとまったチームプレーを発揮し御影、須磨、北須磨を破り御影工、滝川と引き分けただけで無敗の優勝を飾った。見事であった。

県御影は初戦の灘に苦敗を喫したが以後のゲームは御影工に引き分けた以外、須磨、北須磨、滝川に圧勝し見事2位を確保した。

常勝御影工は新チームでの練習不足がたた

り実力が発揮できず2勝1敗に引き分けて3位におわった。下位の3校は、同じ勝ち点となったが得失点差で北須磨が4位、滝川は最終戦の灘に引き分けて須磨を抜いて5位を確保し、入替戦で星陵を下し1部残留を決めた。須磨は負け試合の大量失点がひびいて最下位となり2部へ転落した。

〔2部〕2部リーグはAブロックで星陵と兵庫工が激しいゲームを展開したが2-1で星陵がねばり勝ち1位となった。

Bブロックでは六甲が圧倒的な力を発揮し2位の赤塚山に大差をつけて1位となり、1

部昇格決定戦の星陵戦では6-0で大勝し1部昇格の夢をものに見事に果たした。HB中野を中心にした六甲の忠実なゲーム展開は今後大いに期待できる。

〔3部〕3部リーグでは、神戸FC、葺合、神戸工専、神戸の4チームがそれぞれのブロックで1位を確保した。その結果、神戸、葺合、神戸FCは2部へ昇格したが、神戸工専は甲北との入替戦に勝たなければ昇格できない。今後期待できるチームとしては、神戸と引き分けた東灘、神戸FCと互角の試合をした長田といったところだが他のチームももう少しがんばってもらい、神戸市高校リーグのレベルアップを図ろうではないか。(一北)

〈2部リーグ〉

順位		星陵	兵庫工	伊川谷	神戸西
1	星陵		○	○	○
2	兵庫工	●		○	○
3	伊川谷	●	●		○
4	神戸西	●	●	●	

Aブロック

順位		六甲	赤塚山	甲北	育英
1	六甲		○	○	○
2	赤塚山	●		○	○
3	甲北	●	●		△
4	育英	●	●	△	

〈3部リーグ〉

順位		神戸	東灘	鈴蘭台	舞子	夢野台
1	神戸		△	○	○	○
2	東灘	△		○	○	○
3	鈴蘭台	●	●		△	○
4	舞子	●	●	△		△
5	夢野台	●	●	●	△	

Bブロック

順位		葺合	兵庫	神戸北	鈴西
1	葺合		○	△	○
2	兵庫	●		○	○
3	神戸北	△	●		○
4	鈴西	●	●	●	

Cブロック

順位		KFC	長田	八代	私神港
1	KFC		○	○	○
2	長田	●		○	○
3	八代	●	●		○
4	私神港	●	●	●	

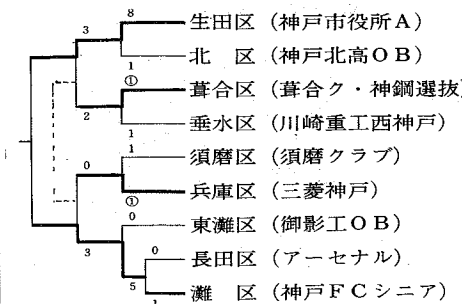
Dブロック

順位		工専	市神工	市神港	村野工
1	工専		○	○	○
2	市神工	●		○	○
3	市神港	●	●		○
4	村野工	●	●	●	

神戸市役所 VS 神戸FC

市総体決勝

第29回神戸市総合体育大会のサッカー大会は、各九つの行政区から選抜された社会人チームによって優勝をめざす。組合せは次の通り。



KFCボーイズ 西日本選抜を破る

10th サマーフェスティバル

清水FCは三部門で優勝



第10回ジュニアサッカーサマーフェスティバルは8月23・24・25日の3日間、神戸中央球技場を中心に小学4年生から中学3年生まで32チームが参加して56試合が行われた。

今年は地元神戸FCの各チームもよくがんばり大会が一層盛り上がった。ことに小6の部ではボーイズAが決勝で西日本少年に4-3と点の取り合う攻撃的な熱戦を展開し優勝。中1の部でも準優勝を果たした。また常勝清水FCは今年カナダの国際大会出場のため中2、中3が不参加だったが、参加した中1、小4、小5の各部門で優勝したのはさすがだった。中3Bグループでは全員3年生の伊賀上野が2年生中心の他を圧倒して優勝した。中3Aグループは神戸FCジュニアAが最終日引き分けても優勝というところ広島大河に3-0で破れ、2勝1敗のチームが3チームになって得失点差で3位にとどまった。▷中3Aグループ ①広島大河FC②静岡城内FC③神戸FC④枚方FC▷中3Bグループ ①上野FC②高槻FC③

交野FC④神戸FC▷中1の部 ①清水FC②神戸FC③若松FC④交野FC▷小6の部 ①神戸FC②西日本少年クラブ③熊本④藤枝ヤングFC⑤上野FC⑥交野FC⑦高松少年スクール・静岡城内FC▷小5の部 ①清水FC②広島大河FC③浜松FC④高日本選抜⑤神戸FC⑥若松FC⑦交野FC⑧高槻FC▷小4の部 ①清水FC②藤枝ヤングFC③四日市選抜④神戸FC



御影工三冠成るか

全国高校選手権県大会

11月2日開幕する昭和55年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会兼全国高等学校サッカー選手権大会兵庫県予選は県内7地区の予選を経て進出した20校と総体のベスト4の4校を合わせた24校で行なわれる。一次トーナメントで8校を決めた後2グループに分かれた準決勝リーグを行ない両リーグの1位による決勝戦が11月15日(土)に神戸中央球技場で行なわれる。

準決勝リーグ進出の有望校はAグループでは御影工、県西宮、御影、社、福崎あたり、Bグループでは伊丹北、西宮東、県芦屋、須磨あたりになりそう。

Aグループでは御影工の力が他を引きはなしているようだがこれをおびやかすとすれば社が御影だろう。

Bグループは、伊丹北、須磨、西宮東がせり合うが、グループリーグ初戦の伊丹北と西宮東戦の結果で展開が決まりそう。

決勝進出の最短距離にいるのはAの御影工、伊丹北あたり。

御影工は今年、新人戦、総体と連勝しており、今大会も征覇すれば、三冠に輝やくことになるが、中盤の八木、FWの井若、三好、GKの兼本らが安定した力をもち他チームよ

2次予選(リーグ)日程 会場
○2次リーグ第1日 11月6日(木) 西宮東六甲

〃 第2日 11月8日(土) 西宮東
〃 第3日 11月9日(日) 西宮東

Aグループ(イニ)・Bグループ(ホニチ)
○決勝

Aグループ1位 11月15日 13:00
Bグループ1位 神戸中央球技場

(参考)
会場 西東—西宮東高校
六甲—六甲高校
北須—北須磨高校

時間 ①—10:00 ②—11:40
③—13:20 ④—15:00

釜山商業高校チームが来神、短期間の滞在中、兵庫県高校選抜が一ゲームを行った。結果は兵庫の善戦で0-0の引き分けに終わった。過去をふり返って見ても双方無得点という記録はない。当然韓国チームがいろいろな面で上回っているで学ぶところが多かった。試合は全日本と韓国の差のようなもの、その内容も最近の全日本：韓国戦を想い浮かべただければ大体のところ分かっていただけるのではないだろうか。ただ今回の高校選抜チームのディフェンスが釜山商業の巧みさを力で弾ね返し、速攻をチームワークでくいとめたところにこのゲームの見所があったように思う。無論ご想像通り五分五分とはいいい難いさびしさも感じるわけですが、初めて経験する、スピードや力強さに魅念にくいつている兵庫イレブンが、一蹴り一蹴りごとに育って行くような気がしてたのもしく感じた。

ところでいつもの事であるが、一体、韓国の選手と兵庫の選手とはどこが違うのだろうか。私にはいつも一緒に走っている高校生と何も変わらないように思えるのである。サッカーだつて別に目を見はるような魅力的なものではなく、むしろオーソドックスなスタイルで戦うことが常である。しかし正確さ、速さの点では、兵庫の選手に比してかなり高いレベルにある。例えばスペースをすばやく突くところ、得点チャンスでのトライの速いことなどかなり経験的な差があるし、全体的に見て、まじめさや体力的な差も大きい様に見える。

り力では一歩抜け出しており、三冠達成も有望。

伊丹北は米田、今藤のガンバリが鍵。西宮東は小林、柿木の調子が上っており伊丹北戦

昭和55年度 兵庫県高等学校選手権大会 兼 全国高等学校選手権大会兵庫県予選 (中央大会・組合せ)

●1次予選(トーナメント)

御影工	13 北須磨①	伊丹北
御影工	5 北須④	浜坂
御影工	6 北須②	西脇
御影工	14 北須②	西宮東
御影工	15 北須③	北須磨
御影工	7 北須③	篠山鳳鳴
御影工	8 北須①	滝川
御影工	16 北須④	東芦屋
御影工		東播磨
御影工		尼崎北
御影工		須磨

伊丹西中学善戦むなし ~2回戦敗退~

全国中学校サッカー選手権大会

今年の全国中学校サッカー選手権大会は、8月20日から23日の4日間、埼玉県大宮サッカー場で開催された。兵庫県からは伊丹西中学校が近畿大会の予選を勝ち抜き初出場を飾ったが、2回戦で埼玉県の百間中学校に惜敗した。試合結果は次の通り。

〈1回戦〉
伊丹西中 2 { 2-1 } 2 水橋中(北信越)
延長 0 { 0-0 } 0
PK 3-1

試合日程から試合時間などで選手に汗をかかず準備ができず試合に挑んだ。楽に勝てる相手だと踏んでいたが中盤がうまくいかず、FWの動きもまずかった。以上の点で苦戦を強いられましたがPK合戦をものに、2回戦へ駒をすすめた。

〈2回戦〉
伊丹西中 0 { 0-0 } 3 百間中(埼玉)

2回戦は前日の失敗にこり選手に早めに行動さし、汗をかき準備は万全であったため前日とは見違えるほどの動きであった。前半0-0、後半百間中は先手のシュートをはなちペースをつかみ波に乗ったが展開力の点では滝本、山田を中心に攻撃した伊丹西

おそろく根気のいる個人技やトレーニングをひたすら耐えて来た連中であろう。このような差は、対釜山との差ばかりではない、神戸という小さな範囲に於いてさえいえるのではないだろうか。同じサッカーをやりながら一方はきわめて強く、一方はきわめて弱い、これも決して技術的な差ばかりではなく、勝つ為に平素いかに努力をし、人間的能力を高めているか、いわば目的達成意欲の差が大きいような気がする。サッカーを楽しくするには、

対釜山商業高校戦から

高校委員会 佃 幹 夫

環境、国民性など考えられる要素は非常に多いが、同じサッカーである。克服すべきは克服して常に前進を計るべきである。釜山商業の連中のように秀れた技を支える、体力と根性があれば、勝てるチームが沢山ある。スポーツ界は日進月歩である。常に挑戦的でないとい取り残される。挑戦権を得るためには常々お互いに切磋琢磨しなければならない。神戸市の高校が一部・二部・三部制のリーグ組織を組んだのもこのような理由からである。次の目標はこれ、次はあれと標的をきめてチャレンジすべきである。チャンスがあれば遠征を計画する。そしてより強敵に挑戦する。そういう気持ちがなければ、我々底辺は伸びな

が白熱のゲームが期待される。須磨はチームプレーを身上に総体で決勝進出をはたしたが、ユースがいないだけに岡本監督の作戦が注目される。

の方が数段優っていた。伊丹西は度々百間中ゴールをおびやかしたが、あと一歩というところで点にできず惜敗した。

〈全国大会で感じたこと〉
若い伸び盛りの子供たちのため、大会期間中は、選手の健康管理、集中力をいかにもつていくかが重要なポイントであると痛感した。

県大会は25分ハーフのため全国大会の30分ハーフに慣れていないため25分以後の5分間集中力の欠けた時にゴールを許す結果になった。

試合内容は、全国レベルと比較してもあまり差がないように感じられた。しかし、集中力、健康管理等の技術的なこと以外の要素が欠けていたのではないかと思っている。

(伊丹西中 永井)

〈全国大会出場までの成績〉
県大会決勝
▷8月 伊丹西中 1 { 0-0 } 0 四郷(姫路)

近畿大会
▷8月 伊丹西中 4 { 2-0 } 0 海南三中(和歌山)

伊丹西中 1 { 0-2 } 2 高槻1中(大阪)

伊丹西中 3 { 2-1 } 1 新庄中(奈良)

全国大会出場決定

い。経済的な面、時間的な面が許されるのなら県外や海外に相手を求めてもっと意欲的なサッカー観をもってもらいたい。日本もトップレベルばかりの海外交流ではだめである。文化交流だって国や県レベルのものよりも庶民の貢献が大きい。ただ注意すべきは文化ショックである。今まではショックばかり多くて得るものの少ないグループもあったようだ。静岡遠征の結果がショックでグチばかりこぼしている連中、これこそ金の無駄使いである。

釜山商業戦の感想がとんでもないところに来てしまいましたが、このところ恒例のようになった釜山市との交流を通じて、取り残しをくらってはいけなない、とつくづく感じるところが多い。我々指導者としても技術の差はともかく人間的能力の差を感じるべきではないでしょうか。私達、よくパワーやスピードの差という問題を取り上げていますが、パワーということについても最大を出す又は出させるのは難しい、最大パワーを出し切る背景こそ勝負を決めるカギ?かも知れないのであって、そのようなトレーニングが古い?と考えるところにトレーニングやブラックティスに非科学性非人間性を認めなければならない。

今回釜山商業の選手達と接しているりと感じたことを記しましたが、彼らの生活やゲーム内容にふれてトレーニングや激しい経験の結果を見せられたような気がしました。